

沖繩県経済動向

平成 31 年 3 月 7 日

沖繩県企画部 企画調整課

沖縄県経済動向

景気は、拡大している。

※指標は平成30年10月-12月期、増減率は前年同期比とする

【観光】

- 入域観光客数は、前年を上回っている。国内客は、個人旅行の需要増加等により、前年を上回っている。外国客は、クルーズ船の寄港回数が減少したものの、航空路線の拡充等により増加している。

(総数 +4.9%、国内客 +5.4%、外国客 +3.4%)

- 主要ホテル客室稼働率は、前年を下回っている。(客室稼働率 77.5%、△0.9)

【個人消費】

- 百貨店・スーパー販売額は、既存店、全店舗ともに前年を上回っている。
(販売額 既存店 +1.5%、全店舗 +3.1%)
- 自動車(新車)の販売は、総台数、軽自動車数ともに前年を上回っている。
(総台数 +7.0%、軽自動車 +9.0%)

【建設関連】

- 住宅着工は、戸数、面積ともに前年を下回っている。非居住建築物については、面積、工事費ともに前年を上回っている。
(住宅着工戸数 △6.2%、非居住建築物工事費 +106.4%)
- 公共工事保証請負額は、前年を下回っている。(公共工事保証請負額 △31.6%)

【雇用情勢】

- 完全失業率は前年を下回っている。12月には復帰後最低となる2.6%を記録した。
(完全失業率 3.2%(原数値)、△0.4)
- 有効求人倍率は、前期を下回っている。(有効求人倍率 1.18倍、△0.01(前期比))

【物価】

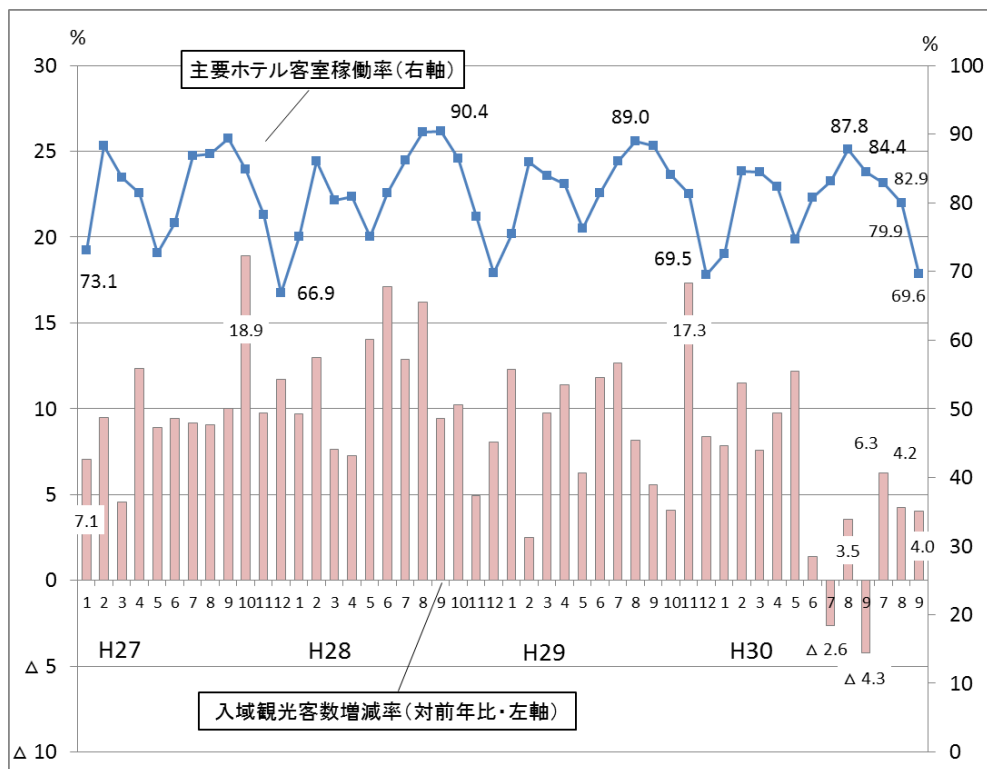
- 消費者物価指数は、前年を上回っている。(消費者物価指数(総合) +1.0%)
- レギュラーガソリン小売価格は、前年を上回っている。
(レギュラーガソリン小売価格 +16円)

以上のように、観光関連については、前期の台風の影響から回復し、入域観光客数は国内客、外国客ともに前年を上回っている。個人消費については、百貨店・スーパー販売額等で前年を上回っている。建設関連については、住宅着工戸数や公共工事保証請負額が前年を下回ったものの、非居住建築物工事費は前年を上回っている。雇用情勢は、完全失業率、有効求人倍率ともに好調に推移している。

このように、観光や個人消費、雇用情勢が好調に推移していることから、「景気は、拡大している。」(25期連続)とみられる。

① 観光

- 入域観光客数は、国内客、外国客ともに前年を上回っている。
- 主要ホテル客室稼働率は、前年を下回っている。

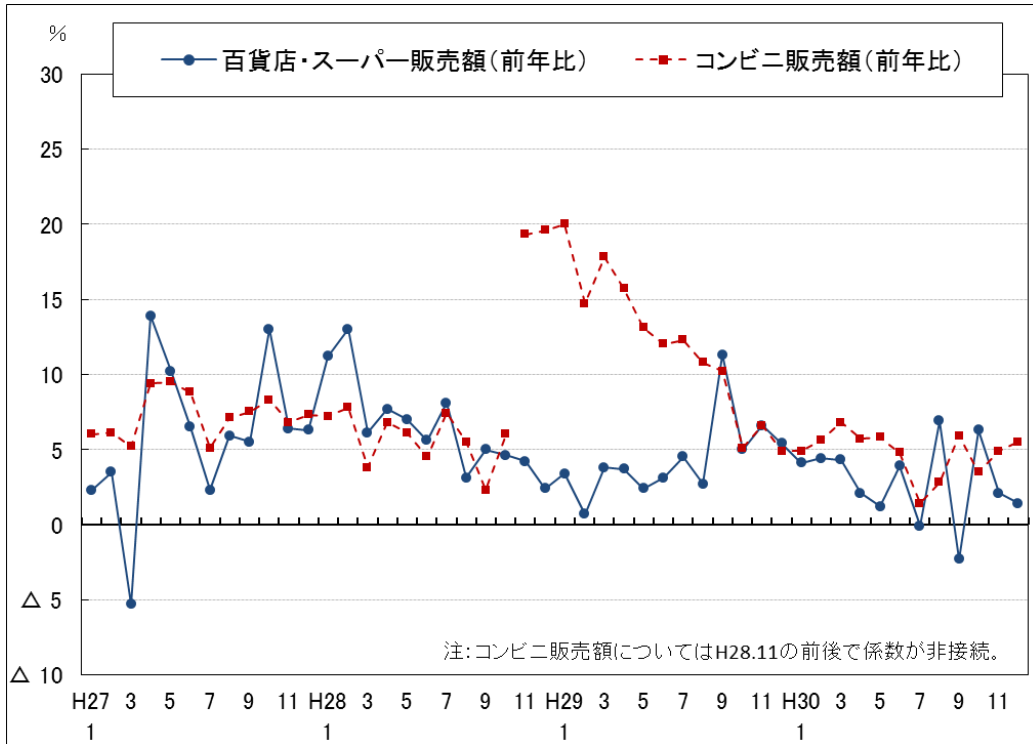


	入域観光客数						主要ホテル客室稼働率		観光施設入場者数
	総数		国内客		外国客		前年比	前年差	前年比(%)
	(百人)	前年比*	(百人)	前年比	(百人)	前年比			
H29.10-12月	22,807	9.6	16,860	2.9	5,947	34.5	78.4	0.4	2.7
H30.1-3月	22,531	8.9	16,536	2.1	5,995	33.3	80.5	△ 1.0	1.3
4-6月	24,738	7.6	16,056	0.2	8,682	24.8	79.2	△ 0.9	△ 5.8
7-9月	27,235	△ 0.9	19,022	△ 2.2	8,213	2.4	85.2	△ 2.6	△ 5.5
10-12月	23,920	4.9	17,772	5.4	6,148	3.4	77.5	△ 0.9	1.2
H29.10月	7,993	4.1	5,701	△ 0.5	2,292	17.7	84.1	△ 2.3	△ 3.2
11月	7,629	17.3	5,805	7.5	1,824	65.5	81.3	3.3	10.9
12月	7,185	8.4	5,354	1.8	1,831	33.5	69.5	△ 0.2	1.5
H30.1月	7,043	7.9	5,099	0.8	1,944	32.1	72.5	△ 2.9	△ 2.6
2月	7,114	11.5	5,166	4.6	1,948	35.2	84.6	△ 1.3	4.6
3月	8,374	7.6	6,271	1.1	2,103	32.8	84.4	0.5	1.7
4月	8,332	9.7	5,564	2.7	2,768	27.2	82.3	△ 0.4	△ 2.7
5月	8,309	12.2	5,146	△ 1.8	3,163	45.9	74.6	△ 1.7	△ 9.2
6月	8,097	1.4	5,346	△ 0.5	2,751	5.2	80.7	△ 0.7	△ 5.5
7月	8,841	△ 2.6	5,933	△ 3.6	2,908	△ 0.6	83.2	△ 2.9	△ 10.3
8月	10,379	3.5	7,379	1.5	3,000	8.8	87.8	△ 1.2	△ 0.9
9月	8,015	△ 4.3	5,710	△ 5.4	2,305	△ 1.3	84.4	△ 3.9	△ 4.7
10月	8,493	6.3	6,028	5.7	2,465	7.5	82.9	△ 1.2	2.8
11月	7,952	4.2	6,041	4.1	1,911	4.8	79.9	△ 1.4	△ 4.3
12月	7,475	4.0	5,703	6.5	1,772	△ 3.2	69.6	0.1	5.6

※本資料において「前年比」は、四半期指標が「前年同期比」、月次指標が「前年同月比」である。
 また「前年差」についても同様に、四半期指標が「前年同期差」、月次指標が「前年同月差」である。

② 個人消費

- 百貨店・スーパー販売額は、既存店、全店舗ともに前年を上回っている。
- コンビニ販売額は、前年を上回っている。
- 自動車(新車)の販売は、総台数、軽自動車ともに前年を上回っている。



	百貨店・スーパー販売額(前年比)		コンビニ販売額 前年比	家電製品 販売額 前年比	自動車販売(新車)				家計消費支出 (名目)		実収入 (名目)	
	既存店	全店舗			総台数 (台)	うち軽自動車		(円)	前年比	(円)	前年比	
						前年比	(台)					前年比
H29.10-12月	4.5	5.7	5.5	9.1	9,978	△ 2.1	5,504	5.0	214,522	5.5	352,346	△ 18.2
H30.1-3月	3.0	4.3	5.8	5.7	13,882	△ 1.5	7,249	6.4	213,638	5.3	299,958	△ 16.8
4-6月	0.8	2.4	5.4	2.3	16,254	15.9	6,805	4.6	208,563	1.5	344,718	△ 15.3
7-9月	△ 0.2	1.6	3.3	△ 5.9	14,093	2.3	6,620	2.0	212,084	4.3	333,665	10.3
10-12月	1.5	3.1	4.6	△ 0.1	10,680	7.0	6,001	9.0	212,488	△ 0.9	464,966	32.0
H29.10月	3.9	5.0	5.1	8.8	3,137	1.4	1,813	4.5	229,463	20.4	348,214	0.2
11月	5.4	6.6	6.6	10.4	3,375	2.2	1,918	4.3	191,318	△ 0.4	255,362	△ 23.4
12月	4.2	5.4	4.9	8.5	3,466	△ 8.8	1,773	6.4	222,785	△ 1.8	453,462	△ 25.8
H30.1月	2.9	4.1	4.9	8.2	3,682	10.8	2,125	14.9	215,042	7.3	280,276	△ 16.5
2月	3.2	4.4	5.6	5.9	4,222	△ 8.6	2,286	6.3	199,915	1.8	326,646	△ 20.8
3月	3.0	4.3	6.8	3.5	5,978	△ 2.8	2,838	0.9	225,956	6.8	292,952	△ 12.0
4月	0.8	2.1	5.7	△ 0.2	5,532	36.9	2,260	9.7	215,016	13.3	291,191	△ 19.0
5月	△ 0.2	1.2	5.8	10.4	4,430	20.8	2,136	4.2	201,176	1.2	262,777	△ 12.9
6月	1.9	3.9	4.8	△ 3.0	6,292	△ 0.4	2,409	0.6	209,498	△ 8.1	480,187	△ 14.3
7月	△ 1.9	△ 0.1	1.4	△ 11.7	6,252	2.8	2,354	2.6	205,334	0.1	331,887	2.2
8月	5.1	6.9	2.8	△ 8.9	3,637	△ 1.9	1,853	△ 1.3	221,726	14.3	352,588	13.9
9月	△ 4.1	△ 2.3	5.9	6.1	4,204	5.6	2,413	4.1	209,191	△ 0.7	316,521	15.8
10月	4.6	6.3	3.5	0.0	3,574	13.9	2,117	16.8	218,593	△ 4.7	394,107	13.2
11月	0.5	2.1	4.9	△ 0.8	3,737	10.7	2,074	8.1	209,679	9.6	329,885	29.2
12月	△ 0.0	1.4	5.5	0.3	3,369	△ 2.8	1,810	2.1	233,814	5.0	670,907	48.0

注: 家計消費支出は二人以上の世帯、実収入は二人以上の世帯のうち勤労者世帯の数値

③ 建設関連

- 住宅着工は、戸数、面積ともに前年を下回っている。非居住建築物については、前年同期からの反動増に加え、宿泊業、飲食サービス業分野で大きく増加したことから、面積、工事費ともに前年を上回っている。
- 公共工事保証請負額は、件数、額ともに前年を下回っている。

	住宅着工				非居住建築物			
	戸数	前年比	面積(m ²)	前年比	面積(m ²)	前年比	工事費(百万円)	前年比
H29.10-12月	4,404	△ 2.5	306,249	4.6	185,404	△ 39.9	42,161	△ 46.4
H30.1-3月	4,109	10.6	275,343	7.9	183,906	△ 11.5	49,611	△ 8.5
4-6月	4,049	3.3	265,114	1.7	194,550	△ 7.0	45,352	△ 32.2
7-9月	4,513	△ 0.9	283,072	△ 2.5	318,153	△ 35.3	99,149	△ 13.0
10-12月	4,132	△ 6.2	283,868	△ 7.3	446,665	140.9	87,001	106.4
H29.10月	1,392	△ 19.6	91,302	△ 19.8	59,290	△ 16.9	15,201	△ 40.5
11月	1,620	53.3	117,047	74.3	66,529	△ 18.8	14,498	△ 22.5
12月	1,392	△ 19.4	97,900	△ 12.4	59,585	△ 61.6	12,462	△ 63.8
H30.1月	1,247	2.6	86,203	△ 2.5	79,171	△ 42.1	22,359	△ 45.4
2月	1,609	43.0	114,485	48.6	44,782	45.8	8,259	97.6
3月	1,253	△ 8.9	74,655	△ 16.9	59,953	48.2	18,994	110.1
4月	1,171	△ 23.4	74,333	△ 25.7	50,885	△ 1.6	8,913	△ 9.8
5月	1,148	9.5	75,817	22.6	73,058	90.6	20,238	94.3
6月	1,730	28.8	114,964	16.2	70,607	△ 40.7	16,200	△ 65.2
7月	1,690	△ 11.7	107,859	△ 10.9	121,456	△ 62.2	38,089	△ 40.6
8月	1,341	△ 5.9	81,142	△ 9.2	96,637	△ 4.6	31,233	3.0
9月	1,482	22.2	94,071	17.6	100,060	44.4	29,827	52.8
10月	1,486	6.8	94,697	3.7	81,075	36.7	24,424	60.7
11月	1,139	△ 29.7	80,854	△ 30.9	124,565	87.2	22,503	55.2
12月	1,507	8.3	108,317	10.6	241,025	304.5	40,074	221.6

	公共工事保証請負額				建設資材価格 (那覇, H22=100)
	件数	前年比	額(百万円)	前年比	
H29.10-12月	942	△ 11.6	70,482	△ 16.7	104.3
H30.1-3月	582	△ 16.1	133,775	30.9	106.5
4-6月	635	△ 6.8	63,971	△ 6.5	106.7
7-9月	1,163	△ 3.8	100,715	△ 8.4	106.8
10-12月	832	△ 11.7	48,202	△ 31.6	106.9
H29.10月	368	△ 10.2	28,073	△ 23.5	103.5
11月	285	△ 17.9	23,134	△ 3.7	104.2
12月	289	△ 6.5	19,275	△ 19.4	105.2
H30.1月	218	0.5	54,569	87.2	106.2
2月	148	△ 17.3	24,674	△ 10.3	106.6
3月	216	△ 27.5	54,532	19.7	106.6
4月	153	△ 3.2	22,513	26.3	106.7
5月	171	△ 14.1	16,134	△ 4.5	106.7
6月	311	△ 4.0	25,324	△ 24.9	106.7
7月	391	△ 6.9	26,729	△ 40.6	106.7
8月	384	0.0	36,794	△ 11.5	106.8
9月	388	△ 4.2	37,192	59.2	106.8
10月	335	△ 9.0	20,558	△ 26.8	106.8
11月	277	△ 2.8	16,031	△ 30.7	106.9
12月	220	△ 23.9	11,613	△ 39.8	106.9

④ 雇用情勢

- 労働力人口、就業者数ともに前年を上回っている。
- 完全失業率(原数値)は、前年を下回っている。
- 有効求職者数、有効求人数ともに前期を上回っている。
- 有効求人倍率は、前期を下回っているものの高水準で推移している。

	労働力人口		就業者数		完全失業者数		完全失業率(原数値)		完全失業率(季調値)	
	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(%)	前年差	(%)	前期差
H29.10-12月	726	8	700	8	26	0	3.6	0.0	3.8	0.3
H30.1-3月	732	14	706	15	26	△ 1	3.5	△ 0.2	3.6	△ 0.2
4-6月	732	13	706	16	26	△ 2	3.6	△ 0.3	3.4	△ 0.2
7-9月	720	11	696	12	24	△ 1	3.3	△ 0.2	3.3	△ 0.1
10-12月	742	16	719	19	23	△ 3	3.2	△ 0.4	3.3	0.0
H29.10月	717	△ 1	689	△ 3	27	1	3.8	0.2	3.9	0.4
11月	733	20	704	19	29	1	4.0	0.1	4.1	0.2
12月	728	6	706	7	22	△ 1	3.0	△ 0.2	3.5	△ 0.6
H30.1月	718	1	695	3	23	△ 1	3.2	△ 0.1	3.5	0.0
2月	733	12	703	10	31	3	4.2	0.3	4.2	0.7
3月	745	29	721	33	24	△ 5	3.2	△ 0.9	3.2	△ 1.0
4月	744	28	721	32	23	△ 4	3.1	△ 0.7	2.9	△ 0.3
5月	733	18	702	12	31	6	4.2	0.7	4.1	1.2
6月	720	△ 6	695	3	25	△ 8	3.5	△ 1.0	3.2	△ 0.9
7月	718	△ 4	698	4	20	△ 8	2.8	△ 1.1	2.6	△ 0.6
8月	726	20	702	20	24	0	3.3	△ 0.1	3.4	0.8
9月	716	16	688	11	28	4	3.9	0.5	4.0	0.6
10月	728	11	700	11	28	1	3.8	0.0	4.0	0.0
11月	754	21	732	28	23	△ 6	3.1	△ 0.9	3.1	△ 0.9
12月	745	17	725	19	19	△ 3	2.6	△ 0.4	2.9	△ 0.2

	有効求職者数 (季調値)		有効求人数 (季調値)		有効求人倍率 (季調値)		正社員有効求人倍率 (原数値)		現金給与総額指数	
	(人)	前期差	(人)	前期差	(倍)	前期差	(倍)	前期差	(H27=100)	前年比(%)
H29.10-12月	25,617	45	29,426	1,045	1.15	0.04	0.53	0.10	117.0	0.2
H30.1-3月	25,166	△ 451	28,824	△ 602	1.15	△ 0.00	0.51	0.10	90.0	△ 2.3
4-6月	24,877	△ 289	28,735	△ 89	1.16	0.01	0.51	0.07	104.7	△ 2.4
7-9月	24,629	△ 247	29,300	565	1.19	0.03	0.57	0.08	97.7	△ 3.0
10-12月	24,798	169	29,349	49	1.18	△ 0.01	0.60	0.07	113.3	△ 3.7
H29.10月	25,770	113	29,404	1,463	1.14	0.05	0.51	0.09	91.2	1.0
11月	25,580	△ 190	29,395	△ 9	1.15	0.01	0.54	0.11	91.8	△ 1.9
12月	25,501	△ 79	29,480	85	1.16	0.01	0.55	0.10	167.9	0.8
H30.1月	25,144	△ 357	28,918	△ 562	1.15	△ 0.01	0.55	0.11	88.8	△ 1.3
2月	25,231	87	28,865	△ 53	1.14	△ 0.01	0.50	0.10	87.3	△ 4.6
3月	25,122	△ 109	28,689	△ 176	1.14	0.00	0.49	0.09	94.0	△ 1.5
4月	24,643	△ 479	28,833	144	1.17	0.03	0.50	0.08	91.4	△ 2.4
5月	25,116	473	28,640	△ 193	1.14	△ 0.03	0.51	0.08	89.6	△ 3.0
6月	24,871	△ 245	28,731	91	1.16	0.02	0.53	0.06	133.0	△ 1.6
7月	24,874	3	28,871	140	1.16	0.00	0.54	0.06	107.7	△ 3.1
8月	24,560	△ 314	29,459	588	1.20	0.04	0.57	0.08	96.4	△ 2.6
9月	24,454	△ 106	29,570	111	1.21	0.01	0.59	0.11	88.9	△ 3.3
10月	24,589	135	28,758	△ 812	1.17	△ 0.04	0.60	0.09	89.4	△ 2.0
11月	24,711	122	29,073	315	1.18	0.01	0.60	0.06	91.2	△ 0.7
12月	25,095	384	30,216	1,143	1.20	0.02	0.60	0.05	159.3	△ 5.1

⑤ 物価

- 消費者物価指数は、総合指数、生鮮食品を除く総合指数ともに前年を上回っている。
- レギュラーガソリン小売価格は、前年を上回っている。

	消費者物価指数(H27=100)					レギュラーガソリン小売価格		
	総合	前年比(%)	前期比	総合(生鮮除く)	食料	(円/ℓ)	前年差	前期差
H29.10-12月	101.3	0.7	0.6	100.9	103.6	146	16	5
H30.1-3月	101.5	1.3	0.1	101.0	104.1	152	15	6
4-6月	101.0	0.5	△ 0.5	101.0	102.2	150	10	△ 1
7-9月	101.7	1.0	0.7	101.4	103.8	158	18	8
10-12月	102.3	1.0	0.6	101.9	105.1	161	16	3
H29.10月	101.1	0.3	0.1	100.8	102.8	144	15	3
11月	101.3	0.4	0.2	100.9	103.6	145	15	2
12月	101.6	1.0	0.3	101.0	104.4	148	18	3
H30.1月	101.6	1.4	0.0	100.9	105.0	150	15	2
2月	101.5	1.4	△ 0.1	101.0	104.1	152	17	3
3月	101.3	1.2	△ 0.2	101.2	103.1	153	14	0
4月	100.9	0.5	△ 0.5	101.0	102.2	147	6	△ 6
5月	101.0	0.6	0.1	101.0	102.3	147	8	1
6月	101.0	0.4	0.0	101.0	102.1	157	17	9
7月	101.4	0.9	0.4	101.2	103.0	158	18	1
8月	101.8	1.0	0.4	101.4	103.6	158	18	1
9月	101.9	0.9	0.1	101.5	104.8	159	18	0
10月	102.5	1.5	0.6	101.8	106.0	162	18	3
11月	102.5	1.2	△ 0.1	102.0	105.1	165	20	3
12月	101.9	0.3	△ 0.6	101.8	104.1	157	9	△ 8

⑥ 金融

- 地方銀行等の実質預金・貸出金は、前年を上回っている。
- 貸出金利は、緩やかに低下している。

	預金・貸出金残高(県内6行庫計)					地方銀行貸出約定平均金利	
	実質預金(A)		貸出金(B)		比率 (B/A) ※	全国(%)	沖縄(地元3行貸出 約定平均金利) 月末水準(%)
	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)			
H29.10-12月	46,703	4.4	36,121	6.3	0.77	1.006	1.559
H30.1-3月	47,494	5.0	37,220	6.4	0.78	0.992	1.531
4-6月	48,312	4.4	37,096	6.5	0.77	0.973	1.520
7-9月	48,742	4.4	37,868	6.3	0.78	0.961	1.515
10-12月	48,433	3.7	38,231	5.8	0.79	0.946	1.506
H29.10月	46,494	5.1	35,491	6.2	0.76	1.017	1.569
11月	46,882	4.5	35,711	6.1	0.76	1.013	1.567
12月	46,703	4.4	36,121	6.3	0.77	1.006	1.559
H30.1月	46,568	4.6	36,296	6.2	0.78	1.002	1.556
2月	46,829	4.3	36,563	6.0	0.78	0.999	1.552
3月	47,494	5.0	37,220	6.4	0.78	0.992	1.531
4月	48,273	4.4	36,660	6.6	0.76	0.986	1.538
5月	48,080	4.2	36,936	6.5	0.77	0.979	1.526
6月	48,312	4.4	37,096	6.5	0.77	0.973	1.520
7月	48,240	3.8	37,325	6.6	0.77	0.967	1.517
8月	48,240	4.0	37,473	6.4	0.78	0.964	1.515
9月	48,742	4.4	37,868	6.3	0.78	0.961	1.515
10月	48,177	3.6	37,772	6.4	0.78	0.956	1.515
11月	48,578	3.6	37,992	6.4	0.78	0.952	1.514
12月	48,433	3.7	38,231	5.8	0.79	0.946	1.506

※ 実質預金に対する貸出金の割合。この比率は、県企画部企画調整課で算出したものである。

注：実質預金、貸出金については、出典元である日本銀行資料の掲載内容変更に伴い、「平残」ベースから「末残」ベースに変更。(平成30年10-12月期公表分より)

注：四半期の値は当該期末の数値

⑦ 関係機関による景況調査等

- 景況については、短期経済観測調査（日本銀行那覇支店）、法人企業景気予測調査（沖縄総合事務局）、県内企業景気調査（沖縄振興開発金融公庫）の全てで現況・見通しともにプラスで推移すると判断している。
- 雇用については、全ての調査において、現況・見通しともに人員が不足するとの判断となっている。

※ 各調査は、調査対象や内容等に違いがあるため、調査同士の比較には注意を要する。

※ DI及び BSI は、回答の構成割合の差と定義される。例えば景況DIは、良いとの回答割合から悪いとの回答割合を差し引いたものである。

※ 法人企業景気予測調査は BSI を用いている。

景況(業況)DI・BSI (良い－悪い)	短期経済観測調査 (日本銀行那覇支店)	法人企業景気予測調査 (沖縄総合事務局)	県内企業景況調査 (沖縄振興開発金融公庫)
H29. 10-12	41	2.4	13.8
H30. 1-3	37	6.6	10.0
H30. 4-6	37	2.7	13.3
H30. 7-9	34	6.3	1.6
H30. 10-12 (※1)	33 (36)	7.1 (9.9)	4.1 (12.9)
H31. 1-3 (見通し)	34	12.4	8.4

※1 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDIである。

雇用DI・BSI (過剰－不足)※1	短期経済観測調査 (日本銀行那覇支店)	法人企業景気予測調査 (沖縄総合事務局)	県内企業景況調査 (沖縄振興開発金融公庫)
H29. 10-12	△ 47	△ 38.7	△ 51.9
H30. 1-3	△ 50	△ 41.5	△ 56.1
H30. 4-6	△ 49	△ 39.6	△ 46.4
H30. 7-9	△ 52	△ 43.6	△ 47.3
H30. 10-12 (※2)	△ 53 (△ 55)	△ 42.5 (△ 35.5)	△ 49.4 (△ 49.8)
H31. 1-3 (見通し)	△ 53	△ 31.9	△ 52.0

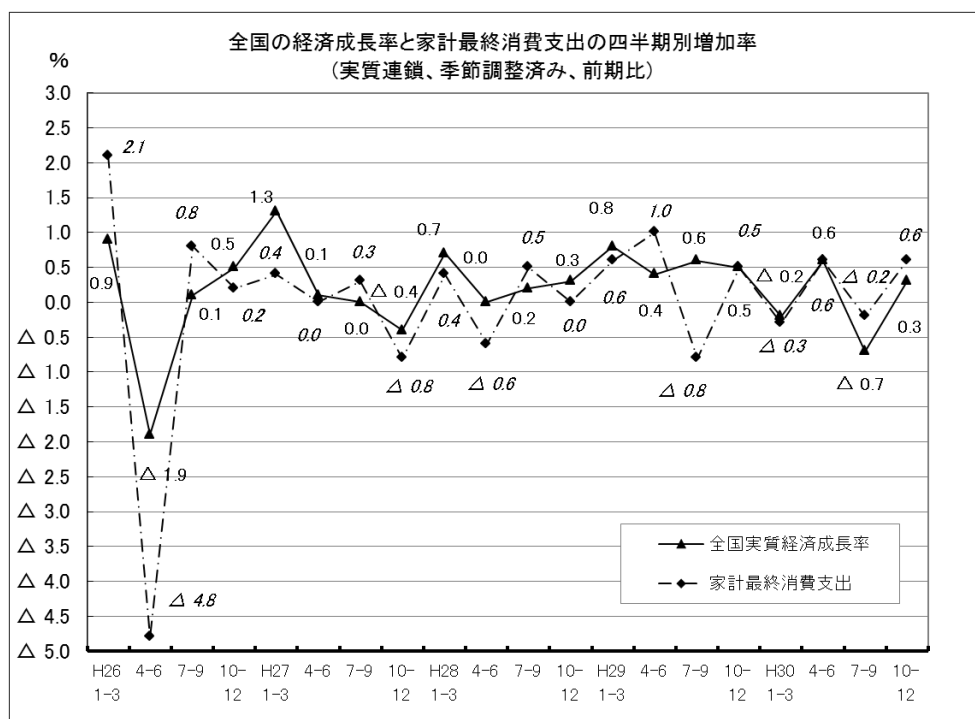
※1 法人企業景気予測調査と県内企業景況調査の原資料においては、(不足－過剰)とBSIを定義しているが、本資料では短期経済観測調査の表記に合わせて、符号を反転し、全て(過剰－不足)のDI・BSIとして掲載している。

※2 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDI・BSIである。

⑧ その他

- 鉱工業指数は、生産指数、出荷指数ともに前期を下回っている。
- 企業倒産の発生状況は、件数、負債総額ともに前年を下回っている。
- 全国の10～12月期の経済成長率は0.3%(年率1.4%)、家計最終消費支出は0.6%となった。

	鉱工業指数※ (季節調整済指数)				企 業 倒 産 (負債総額1千万円以上)					沖縄地区税関貿易額				
	生産指数		出荷指数		全 国		沖 縄			輸出額		輸入額		差引額 (輸出-輸入)
	H22=100	前期比	H22=100	前期比	件数	億円	件数	百万円	前年比(%)	百万円	前年比(%)	百万円	前年比(%)	百万円
H29.10-12月	96.8	△ 3.0	67.1	△ 5.5	2,106	6,392	16	2,458	98.2	7,559	△ 7.3	62,982	109.8	△ 55,423
H30.1-3月	96.5	△ 0.3	73.1	8.8	2,041	3,273	12	1,562	△ 41.4	3,864	△ 56.3	46,072	14.1	△ 42,208
4-6月	99.5	3.2	73.2	0.2	2,107	4,194	14	3,131	429.8	5,038	8.0	33,156	△ 37.2	△ 28,118
7-9月	95.8	△ 3.7	68.6	△ 6.3	2,017	4,182	11	7,052	1290.9	3,900	△ 65.4	41,346	7.3	△ 37,447
10-12月	92.2	△ 3.8	66.3	△ 3.3	2,070	3,207	7	671	△ 72.7	16,304	115.7	54,482	△ 13.5	△ 38,178
H29.10月	103.6	7.8	70.5	4.8	733	959	4	307	13.7	3,397	35.2	25,498	204.3	△ 22,101
11月	92.8	△ 10.4	68.0	△ 3.5	677	1,457	8	852	10.6	2,196	△ 43.6	10,964	△ 9.1	△ 8,768
12月	93.9	1.2	62.9	△ 7.5	696	3,976	4	1,299	549.5	1,966	12.5	26,520	176.9	△ 24,554
H30.1月	91.1	△ 3.0	64.8	3.0	635	1,046	2	620	339.7	1,303	0.8	24,129	62.1	△ 22,826
2月	91.1	0.0	74.3	14.7	617	900	4	366	△ 51.8	1,207	△ 11.6	9,705	22.7	△ 8,498
3月	107.2	17.7	80.1	7.8	789	1,327	6	576	△ 67.4	1,354	△ 78.1	12,238	△ 30.4	△ 10,884
4月	98.8	△ 7.8	75.8	△ 5.4	650	955	6	1,467	1,028.5	1,890	44.8	7,660	△ 67.7	△ 5,770
5月	97.8	△ 1.0	69.6	△ 8.2	767	1,044	4	347	△ 11.3	1,461	△ 2.9	15,707	13.2	△ 14,246
6月	102.0	4.3	74.2	6.6	690	2,195	4	1,317	1,781.4	1,687	△ 9.1	9,789	△ 35.5	△ 8,102
7月	89.3	△ 12.5	66.6	△ 10.2	702	1,127	6	5,697	1,605.7	1,103	△ 27.4	15,893	37.2	△ 14,790
8月	103.1	15.5	71.3	7.1	694	1,213	3	941	499.4	1,481	△ 34.6	13,756	8.1	△ 12,276
9月	95.1	△ 7.8	67.9	△ 4.8	621	1,842	2	414	2,487.5	1,316	△ 82.4	11,697	△ 17.9	△ 10,381
10月	93.5	△ 1.7	66.9	△ 1.5	730	1,176	3	605	97.1	1,864	△ 45.1	22,440	△ 12.0	△ 20,576
11月	92.3	△ 1.3	66.6	△ 0.4	718	1,213	3	56	△ 93.4	1,336	△ 39.2	12,945	18.1	△ 11,609
12月	90.7	△ 1.7	65.5	△ 1.7	622	818	1	10	△ 99.2	13,104	566.5	19,097	△ 28.0	△ 5,993



＜参考＞関係機関による景況判断

県内景況は拡大基調にある。また、国内景況は回復基調が続いている。

	内閣府 (月例経済報告: 全国)	内閣府 (地域経済動向)	沖縄総合事務局	沖縄振興開発 金融公庫	日銀那覇支店	りゅうぎん総研	おきぎん経研	海邦総研	沖縄県
公表29/12 (指標10月)	景気は、緩やかな回復基調が続いている。				県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している		
公表30/1 (指標11月)	景気は、緩やかに回復している。		拡大している	県内景況は、拡大している	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している	県内景気は拡大している	
公表30/2 (指標12月)	景気は、緩やかに回復している。	景気は着実に回復している。			県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している		景気は、拡大している
公表30/3 (指標1月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している		
公表30/4 (指標2月)	景気は、緩やかに回復している。		拡大している	県内景況は、拡大している	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している	県内景気は拡大している	
公表30/5 (指標3月)	景気は、緩やかに回復している。	景気は着実に回復している。			県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している		景気は、拡大している
公表30/6 (指標4月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している		
公表30/7 (指標5月)	景気は、緩やかに回復している。		拡大している	県内景況は、拡大している	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している	県内景気は拡大している	
公表30/8 (指標6月)	景気は、緩やかに回復している。	景気は着実に回復している。			県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる	県内景況は、拡大している		景気は、拡大している
公表30/9 (指標7月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きに一服感がみられる	県内景況は、拡大している		
公表30/10 (指標8月)	景気は、緩やかに回復している。		拡大している	県内景況は、台風等の影響がみられたものの、総じて拡大基調にある	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きに一服感がみられる	県内景況は、拡大している	県内景気は拡大している	
公表30/11 (指標9月)	景気は、緩やかに回復している。	景気は着実に回復している。			県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きに一服感がみられる	県内景況は、拡大している		景気は、拡大している
公表30/12 (指標10月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大している。	県内景況は、拡大している		
公表31/1 (指標11月)	景気は、緩やかに回復している。		拡大している	県内景況は、拡大している	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大している。	県内景況は、拡大している	県内景気は拡大している	
公表31/2 (指標12月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大している。	県内景況は、拡大している		景気は、拡大している
公表時期	毎月	3ヶ月毎	3ヶ月毎	3ヶ月毎	毎月	毎月	毎月	3ヶ月毎	3ヶ月毎

注1: 月例経済財報告(内閣府)においては、公表月の2ヶ月前の指標に加え、公表日までには得られた指標等も併せて判断している。

注2: 地域経済動向(内閣府)においては、公表月の前月までの指標等も併せて判断している。

出 典 一 覧

項 目	出 典
①観光	
入城観光客数	沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課
主要ホテル客室稼働率	日本銀行那覇支店
観光施設入場者数	(株)りゅうぎん総合研究所
②個人消費	
百貨店・スーパー販売額	経済産業省
コンビニ販売額	日本銀行那覇支店
家電製品販売額	経済産業省
自動車販売	沖縄県自動車販売協会
家計消費支出(二人以上の世帯)	沖縄県企画部統計課
③建設関係	
住宅着工	国土交通省
非居住建築物	国土交通省
公共工事保証請負額	西日本建設業保証(株)
建設資材価格指数	(一財) 経済調査会
④雇用情勢	
労働力調査 (労働力人口、就業者数、完全失業者数、完全失業率)	沖縄県企画部統計課
労働市場の動き (求職者数、求人数、有効求人倍率、正社員有効求人倍率)	厚生労働省沖縄労働局
現金給与総額指数	沖縄県企画部統計課
⑤物価	
消費者物価指数	沖縄県企画部統計課
レギュラーガソリン小売価格	経済産業省 資源エネルギー庁
⑥金融	
預金・貸出金残高(県内6行庫計)	日本銀行
地方銀行・約定平均金利(全国)	日本銀行
地元3行貸出約定平均金利(沖縄)	日本銀行那覇支店
⑦関係機関における景況調査等	
県内企業短期経済観測調査	日本銀行那覇支店
法人企業景気予測調査	沖縄総合事務局財務部
県内企業景況調査	沖縄振興開発金融公庫
⑧その他	
鉱工業指数	沖縄県企画部統計課
企業倒産	(株)東京商工リサーチ
沖縄地区税関貿易額	財務省沖縄地区税関
全国の経済成長率等	内閣府